

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月15日

事業所名 FUNDA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	・広々として過ごしやすいと思う。 ・部屋は広くて見通しも良い	
	2	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%	・その日の個別対応やプログラム・モニタリング・送迎等によっては、職員配置がシビアと感じる部分はあるが、致し方ない部分だと感じている。 ・どうしても少ない場合は、別の事業所から応援も来てもらっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	62.5%	37.5%	・トイレが不便ですが、契約時に納得いただいています。 ・ビルの入り口付近に自転車が置かれているが、通路を確保できるよう、都度整備することを心がけている。 ・清掃・消毒は毎日徹底している。 ・消毒については、職員が使用したものも行っている。 ・事業所内は広くて動きやすいが、ビルの入口は自転車が多く入りにくい時がある。喫煙所があり臭いがきつい時も度々ある。 ・消毒は徹底している。 ・トイレは1つ下の階なので、もし車椅子の方などが来られるとエレベーターを使うしかない。	トイレなどご不便をおかけしていることもありますが、契約時にご理解いただくようにしています。ビル入口の自転車の整理など、こちらで対応できるものは積極的に行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%	毎日必ずミーティングで振り返りと改善策を話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	毎年必ず行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25.0%	75.0%	・今後第三者委員会は設置する予定です。 ・分かりません。	今後第三者委員会は設置する予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	・最近は行っていないが、従来は強度行動・虐待防止・ゲーム依存と月1で行っていた。 ・ほぼ毎月研修がある。 ・毎月職員研修をしている。	職員が交代で勉強し、アウトプットすることで理解が深まるようにしています。繁忙期でも継続していけるよう、工夫していきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	全職員で話し合っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月15日

事業所名 FUNDA

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%	フェイスシートの活用	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	・基本的に毎朝のミーティングで10-15分ほど用いて、スケジュール作成・立案を行うようにしている。 ・月に1つ以上ずつ、新しい案を出している。よく話し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	・子供たちが飽きず楽しく取り組めるよう、一番力を入れているところです。 ・職員全員で新しいプログラムを考えている。 ・ゲーム系・体験系・パソコン等のクリエイティブ系と曜日ごとに大まかなプログラムを決めている。 ・毎月新しいプログラムがある。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100.0%	0.0%		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	・毎朝のミーティングで行っている。 ・毎朝ミーティングがある。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	・基本的に、翌日のミーティングにて、前日振り返りを行い、次へと活かすようにしている。 ・翌日に振り返りを行っている。 ・毎日している。 ・時間がない時は必ず次の日の朝に話し合っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100.0%	0.0%		
20 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月15日

事業所名 FUNDA

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	87.5%	12.5%	・外部と密に連絡を取り合っている。 ・学校とは積極的に連絡をして連携を取っている。	外部機関との連携は積極的に行っています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	37.5%	62.5%	・主治医の先生の情報はいただいていますが、今のところ保護者の方との密な連携にとどまっています。 ・保護者と密な連絡を取り合っている。 ・該当児童については現状、保護者と密に連絡を取り合うことで対応している。 ・主治医との連絡体制は整えていないが、保護者との細かい共有は徹底している。	今年度、初めて受け入れをしました。保護者の方がとても丁寧に指示書を作ってくださいますが、主治医の先生にも連絡を入れるようにしていきます。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	87.5%	12.5%	分からない。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75.0%	25.0%	相談支援員を通して移行先に情報を提供している。	
	25 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	62.5%	37.5%	分からない。	必要な児童に関しては、しっかり連携を取っています。職員間での共有を徹底します。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	37.5%	62.5%	・兄弟なども参加できるプログラムを時々用意しています。 ・姉妹事業所との交流がある。 ・障がいのない児童との交流をする機会はないが、イベントなどでは大人と交流する機会はある	姉妹施設を含め、いろいろな事業所と交流の機会を作っていきたいです。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	62.5%	37.5%	3ヶ月に1回参加している。	協議会での話し合いの内容など、職員間の共有を徹底していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	・HUG上で日々の様子等は伝えているが、直接保護者と話す機会は少ない。児童や保護者に支援方針が上手く伝わらない部分もあるため、保護者と話す機会は設けていく。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月15日

事業所名 FUNDA

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75.0%	25.0%	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会で研修を設けたりしています。 HUGの記入やプログラム等では、保護者の視点・児童の視点と多角的な視点・論点を養うようにしている。 トレーニングは行っていないとおもう。 家でどう対応して欲しいかなどを伝えることはよくある。 	個別で相談に来られる方に対しては、アドバイスなど積極的に行っています。保護者会での研修などを継続していきます。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 提供記録にコメントがあれば、必ず対応している。 今後も強化していくために直接話をする時間を増やしている。 	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 親カフェの開催。 色々なテーマに沿った保護者会がある。 	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	通信の発行。Instagramの更新。	
	35 個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> 基本手に問題は無いが、以前、ゴミ箱に児童の名前が記載されている書類がそのまま捨てられていることがあった。罰金の対象になるため、引き続き気をつける。 	このようなミスがあった場合は、ミーティングで周知し、厳重注意の上、改善策を立て実行しています。「罰金の対象」という考え方は違うことを会議で再確認し、個人情報の取り扱いの重要性を再確認しました。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	<ul style="list-style-type: none"> ラインで送る内容など、いつも時間をかけて考えている。 伝わりにくい場合は視覚支援にも気をつけている。 	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	12.5%	87.5%		今後検討していきます。
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100.0%	0.0%	保護者の方への周知をもっとしっかりできるよう工夫していきます。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 2月15日

事業所名 FUNDA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	・避難訓練の実施。 ・半年に1回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	87.5%	12.5%	虐待に関する研修の実施。	研修は実施していますが、非常勤職員への周知も徹底します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%	身体拘束が必要な場合は必ず保護者に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	50.0%	50.0%	・本人や保護者と確認を行なっている ・保護者や本人のもと、対応を進めている。過去にうっかりアレルギーのある食品を食べた児童がいた(保護者にも確認をしており、特に問題はなかった)ため、過信することなく、しっかり確認していく。	医師の指示書が必要なレベルの児童はいませんが、保護者の方からの情報共有はしっかり行い、職員間での共有も徹底します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%	書面やPC上で確認している。	